

# 経営比較分析表（令和2年度決算）

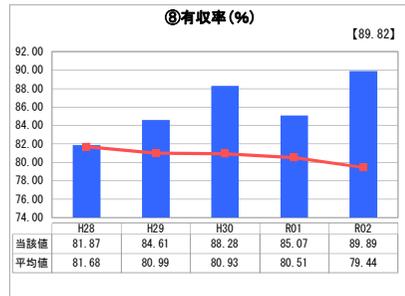
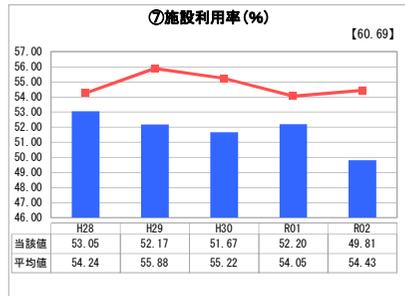
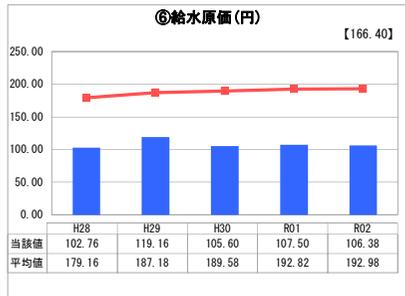
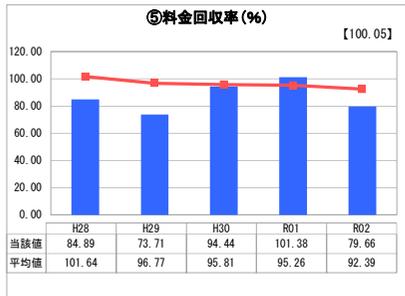
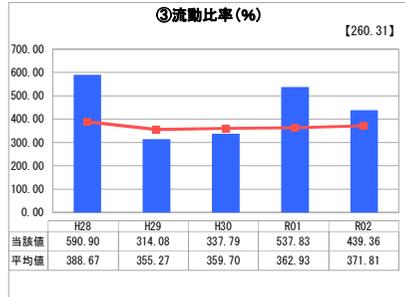
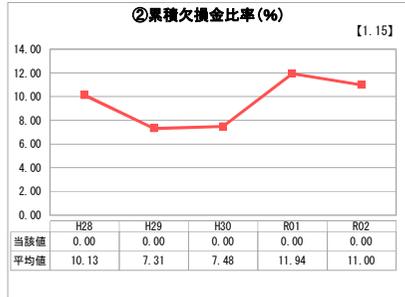
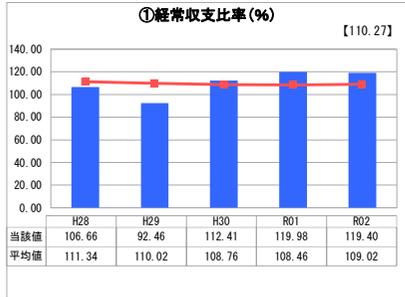
岡山県 早島町

業務名	業種名	事業名	類似団区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A7	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)	
-	65.50	100.00	1,980	

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
12,721	7.62	1,669.42
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
12,684	7.62	1,664.57

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和2年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 分析欄

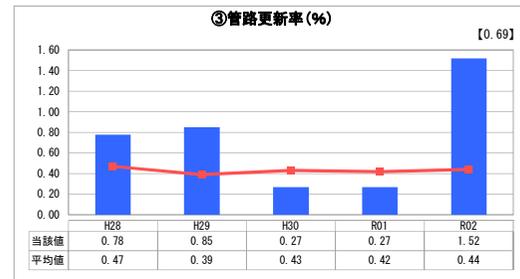
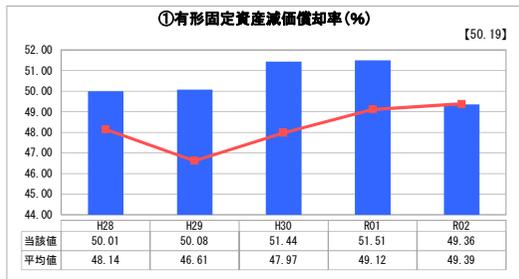
### 1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率は100%を上回っているが、これは一時的な加入者負担金・管理負担金の増加によるものであり、企業債の発行の抑制及び適正な料金改正が必要である。  
 ②累積欠損金比率は発生していないが、引き続き適正な徴収を行う必要がある。  
 ③流動比率については、短期債務に対する支払い能力は確保されているといえる。ただし、管路更新に係る企業債の発行による流動負債の増加が見込まれている。  
 ④給水収益に対する企業債残高は、新型コロナウイルス感染症対策事業によるものであり、実質的には前年度と比較して増加している。実質的には大きな変化はないが、健全な経営のためには、企業債の発行の抑制及び適正な料金改正が必要である。  
 ⑤100%を下回ったが、これは新型コロナウイルス感染症対策事業によるものであり、実質的には前年度とほぼ同程度である。しかしながら適正な料金改正が必要ない状況には変わりない。  
 ⑥有収水量1m<sup>3</sup>あたりの給水原価は、コスト意識を常に持つことにより、平均値よりも低く抑えられており、費用効率は良いといえる。  
 ⑦施設利用率は、大きな下落があるため、ダウンサイジング等による有効的な施設利用の検討が必要である。  
 ⑧漏水箇所の修繕や管路更新により前年より改善されたが、引き続き計画的な管路の更新が必要である。

### 2. 老朽化の状況について

①上昇傾向にあるため、計画的な更新を引き続き推進する必要がある。  
 ②管路更新が着々と進み、平均値を下回ってはいるが、引き続き計画的な更新が必要である。  
 ③管路更新が着々と進み、平均値を上回ったが、今後も法定耐用年数を迎える施設の増加が見込まれるため、計画的早期に更新を行うことが課題である。

## 2. 老朽化の状況



## 全体総括

本町の水道事業経営は決して良好とはいえず、適切な料金水準にすることが必要である。今後は、施設の老朽化に伴い、更新にかかる費用を確保する必要があるため、安定的かつ計画的に水道経営を行う上では、他の事業体と比べて大幅に安い水道料金の改正の必要がある。